

令和7年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試】

専門科目 入学試験問題

【問題冊子】

注意事項

1. 問題冊子と解答用紙は、指示があるまで開かないでください。
2. 問題冊子は、表紙を除き2枚（1～2ページ）あります。
3. 問題は、専門基礎（経済学）および専門（農業資源経済学）の2種類から構成されています。
4. 専門基礎は、内容別に1問ずつ出題した2問あります。志望研究分野に関わらず1問を選択して解答してください。なお、2問解答した場合、専門基礎は採点されません。
5. 専門は、研究分野別に1問ずつ出題した4問あります。志望研究分野の問題を含む2問を選択して解答してください。なお、3問以上解答した場合、専門は採点されません。
6. 選択しなかった問の解答用紙には、大きく「×」を記してください。
7. 解答用紙は、表紙を除き6枚（1～6ページ）あります。
8. 解答始めの合図の後、すべての解答用紙（表紙を含む）に受験番号と氏名を記入してください。
9. 解答は、解答用紙の所定欄に記入してください。
10. 解答用紙の回収の際には、ホッチキス留めを外さずに、すべての解答用紙を提出してください。

専門基礎（経済学）

【ミクロ経済学】

問1. 個別企業の生産者余剰が、その企業の粗利潤に等しいことを説明しなさい。ただし、企業は価格受容者であるものとする。

【政治経済学】

問2. 資本主義経済において生産力が社会全体で飛躍的に発展する理由と結果について、「特別剰余価値」「相対的剰余価値」という2つの用語を用いて説明しなさい。

専門（農業資源経済学）

【食料農業政策学】

問1. 土地利用型農業において、家族農業経営から資本主義農業経営への農地貸付を可能とする経済的条件について、以下の設問に解答しなさい。

- (1) 家族農業経営の面積当たり農業所得、資本主義農業経営の面積当たり地代負担力、それぞれの内容を計算式を用いて示しなさい。
- (2) 家族農業経営が離農し、それまでの農業従事者に自営農業以外の所得を得る機会がないと仮定した場合に、家族農業経営の面積当たり農業所得と資本主義農業経営の面積当たり地代負担力にどのような関係が成立すれば、上述の農地貸付が円滑に進行しうるか、説明しなさい。
- (3) 家族農業経営が離農し、それまでの農業従事者に自営農業以外の所得を得る機会があると仮定した場合に、どのような関係が成立すれば、上述の農地貸付が円滑に進行しうるか、説明しなさい。

【農業経営学】

問2. 日本の土地利用型農業経営における規模の制約に関する特徴について説明しなさい。

【食料経済分析学】

問3. 物流の「2024年問題」に関して、農業者の輸送費負担増の影響を生産補助金が緩和するという点をミクロ経済学的に図解しなさい。ただし、市場は完全競争市場であるものとする。

【環境生命経済学】

問4. 私的財と、3種類の公共財、すなわち純粋公共財、クラブ財およびコモンプール財の違いについて説明しなさい。また、公共財的性質を有する農業資源の例を一つ挙げて、どの財に相当するか説明しなさい。

令和7年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学

専攻 修士課程【一般入試】

専門科目 入学試験問題

【解答例】

※受験者の専門的知識を踏まえた思考能力及び問題解決能力を
評価する設問であるため非公表とする。

令和7年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試】

専門科目 入学試験問題

【出題意図】

専門基礎（経済学）

問1．ミクロ経済学に関する基礎知識を問う。

問2．政治経済学に関する基礎知識を問う。

専門（農業資源経済学）

問1．食料農業政策学に関する専門知識を問う。

問2．農業経営学に関する専門知識を問う。

問3．食料経済分析学に関する専門知識を問う。

問4．環境生命経済学に関する専門知識を問う。